

サタデーどうしん

19 文化・エンタメ

21 パラスポーツ@北海道

23 被災地を見つめる

24 スコープ

アルゴグラフィックス北見カーリングホールのオープン初日の始投式で、最初のストーンを投じる一般社団法人口コ・ソラーレ代表理事の本橋麻里さん(高橋義英撮影)



北見「新氷都」へ滑り

「地域資源であるカーリングの価値を高め、地方創生を実現させる拠点施設」。10月31日、北見工業大近くの北見市中心部に開業した市内2カ所目となる通年営業のカーリング専用施設「アルゴグラフィックス北見カーリング

備える。同じ市内にあるアドヴィックス常呂カーリングホールが備える国内最多の6シートの半分だが、北見工業大の協力でカーリングの戦術を科学的に分析する国内には例がない常設の研究拠点機能を整備した。

最高の4億8千万円近くに達した。

市は19年3月に新ホールの建設を発表。市財政課は「寄付の増加は(新ホール建設の)強力な後押しになった」と話す。新ホールの完成により、市は道内に5施設しかない通年

道内の通年営業のカーリング専用施設

施設名	所在地	シート数
アドヴィックス常呂カーリングホール	北見市	6
どうぎんカーリングスタジアム	札幌市	5